

2026 年度 一般入学試験（1 月 30 日）

地理歴史・公民・理科

〔世界史探究, 日本史探究, 政治・経済〕
〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

（試験時間 60 分）

この問題冊子には、「世界史探究」「日本史探究」「政治・経済」の 3 科目及び「理科（物理基礎・化学基礎・生物基礎）」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、131 ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史探究	4 ～ 27	左の 3 科目のうち 1 科目を選択して解答する。
	日本史探究	28 ～ 61	
	政治・経済	62 ～ 89	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	91 ～ 131	試験時間内に左の 3 科目のうち 2 科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「**地理歴史・公民解答用紙**」を、「理科」の科目を選択する者は「**理科解答用紙**」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙 1 枚で 2 科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間（60 分）の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日本史探究

(解答番号 1 ～ 36)

第1問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 6世紀末、隋が中国全土を統一すると、日本(倭)国内では、王権の強化をはかり、[Ⓐ]大陸の新知識を吸収して中央集権化を進めようとする動きが起こった。さらに、隋滅亡後に強大な帝国を築いた唐が7世紀半ばには高句麗への侵攻を開始すると、緊迫した東アジア情勢のなかで国内の体制強化が緊急の課題として認識されることになった。

こうして645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、当時権勢を誇っていた蘇我本宗家を乙巳の変で滅ぼし、天皇を中心とした中央集権を目指して政治改革に着手した。皇極天皇は譲位して中大兄皇子の叔父にあたる[Ⓑ]孝徳天皇が即位し、中国の政治制度などに精通する ア と旻は国博士となってこの新政権を支えた。646年には、4か条からなる「改新の詔」が都の イ で出され、新政権の政策方針が示されている。

しかし、朝鮮半島では、唐が新羅と結んで勢力を伸ばし、660年には百済が滅ぼされた。さらに、百済の復興支援のために朝鮮半島へ出兵した倭軍は、663年の白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗し、国家存亡の危機となった。[Ⓒ]唐・新羅の侵攻も見据えた国防の強化がはかられるなか、668年、中大兄皇子が天智天皇として即位し、内政重視の政策を展開していった。

問 1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 阿倍仲麻呂 イ 近江大津宮
- ② ア 阿倍仲麻呂 イ 難波長柄豊碕宮
- ③ ア 高向玄理 イ 近江大津宮
- ④ ア 高向玄理 イ 難波長柄豊碕宮

問 2 下線部①に関連して述べた次の文 X・Y と、それに該当する人物名 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 7世紀初めに来日した百済僧で、暦法・天文・地理などを伝えた。

Y 北魏様式の仏像を制作し、おもな作品に法隆寺金堂釈迦三尊像などがある。

a 観 勒 b 曇 徴 c 鞍作鳥 d 定 朝

- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 3 下線部⑥に関連して、孝徳天皇の治世に推進された蝦夷に対する政策に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 陸奥国に鎮守府と国府を併設した多賀城を設置し、蝦夷征討の拠点とした。
- ② 陸奥国を分割して出羽国を設置し、帰順した蝦夷に移住を命じた。
- ③ 蝦夷に対する最前線基地として、日本海側に淳足・磐舟柵を設置した。
- ④ 阿倍比羅夫を派遣し、秋田地方やさらに北方の蝦夷と関係を結んだ。

問 4 下線部㉔に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 4

- a 郡司の子弟を健児として採用するなど、あらたな兵制を整備した。
- b 百済からの亡命貴族の指揮下に、大野城など朝鮮式山城を築いた。
- c 全国の民衆を対象とする最初の戸籍として、庚午年籍を作成した。
- d 飛鳥浄御原令に基づいて庚寅年籍を作成して、班田を実施した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

B 710年に㉔平城京への遷都によって奈良時代が始まったが、8世紀前半には早くも律令体制に動揺がみられた。律令編纂^{へんさん}の中心となった藤原不比等が亡くなると、天武天皇の孫であった長屋王が政治の実権を握ったが、この頃、人口増加や農民の浮浪・逃亡による口分田の不足・荒廃が問題になっており、長屋王は、㉕百万町歩の開墾計画や三世一身法を出して田地の拡大と税収の確保をはかったが、729年、不比等の子である武智麻呂ら4兄弟の策謀によって自殺に追い込まれた。

奈良時代には㉖長屋王の死後も政権をめぐる争いが絶えず、さらに疫病の流行や飢饉なども加わって社会不安が増大した。そのため、724年に即位した聖武天皇は、仏教のもつ㉗鎮護国家の思想によって国家を安定させようとし、仏教は国家の保護のもとで発展した。また、耕地開発・税収対策としては、743年、墾田永年私財法によって開墾地の永久私有を認めた。これは、それまで規定のなかった開墾地が政府の掌握する田地に含まれるという点で、政府による土地支配の強化をはかるものであったが、一方で、貴族や大寺院などが大規模な原野の独占と開墾を進め、㉘初期荘園と呼ばれる私有地を拡大させることになった。

問5 下線部㉔に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 平城京造営に使役された人々に労働の代金として支給するため、乾元大宝が鑄造された。
- ② 唐の都長安にならい、東西・南北に走る道路で碁盤目状に区画される条坊制を採用した。
- ③ 都は中央を走る朱雀大路で、東側の左京と西側の右京に分けられ、北部中央には宮城が設けられた。
- ④ 京には貴族・官人・庶民が居住し、大安寺・薬師寺・興福寺などの大寺院が移転・造営された。

問6 下線部㉔に関連して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 6

X 百万町歩の開墾計画はすぐさま実行に移され、畿内に公営田、大宰府に官田と呼ばれる田地が開墾された。

Y 三世一身法が発布された年、中国東北部を領域としていた渤海が契丹(遼)に滅ぼされ、東アジア情勢は緊迫化した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問7 下線部㉕に関連して、奈良時代に展開された権力闘争に関して述べた次の文I～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

I 吉備真備・玄昉らの排斥を求め、九州で藤原広嗣が蜂起した。

Ⅱ 橘奈良麻呂によるクーデタ計画が、未然に発覚した。

Ⅲ 道鏡が台頭し、これに危機感を募らせた恵美押勝が蜂起した。

① I — Ⅱ — Ⅲ

② I — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — I — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — I

⑤ Ⅲ — I — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — I

問 8 下線部⑧に関連して、鎮護国家の思想のもとで推進された政策や出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 国家安泰を願った光明皇后が、金峯山詣の際に仏教經典を経筒に入れて埋納した。
- ② 租税の免除を掲げ、民衆が僧侶になることを奨励した。
- ③ 民間への布教活動を行っていた最澄に、大仏造営への協力を要請した。
- ④ 国分寺建立の詔が發布され、諸国に国分寺と国分尼寺の整備を命じた。

問 9 下線部⑨に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

X 国司や郡司の協力のもと、一般農民や浮浪人を用いて開墾・経営され、専属の荘民はいなかった。

Y 醍醐天皇の時代に延喜の荘園整理令が出され、寺院を除いて開墾が一時禁止された。

- | | |
|--------------|--------------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

第2問 次の文章A・Bは、日本史探究の授業後に生徒と先生が交わした会話である。この文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A

生徒：①鎌倉幕府は、将軍と御家人との土地を仲立ちとする封建的主従関係によって支えられた武家政権なんですね。そう考えると、モンゴル襲来は、幕府の存立基盤に大きな打撃を与える出来事であったといえますね。

先生：そうだね。モンゴル襲来は国土防衛戦争であったため、新たに獲得した領地がなく、戦功のあった御家人へ与える恩賞がなかったんだ。だけど、大きな負担のもと命がけで戦った御家人としては、いわゆる「御恩なき奉公」になったことに納得できないよね。

生徒：肥後の御家人であった **ア** が自ら鎌倉まで赴いて恩賞を獲得したというのを絵巻物でも学びました。でも、多くの御家人は恩賞が得られず困窮していったのですね。

先生：弘安の役後も異国警固番役が引き続いて課されたことも御家人には大きな負担だったんだよ。幕府は、1293年に **イ** を設置して裁判を行わせ、九州の御家人が所領紛争などに際して②鎌倉や京都に訴え出ることを禁じたんだ。

生徒：九州の御家人が異国警固番役の任務を放棄することのないようにしたんですね。あと、モンゴル襲来の影響としては、北条氏、とくに得宗の権力が増大したこともあるようですね。

先生：幕府は、③執権を中心とした有力御家人による合議制のもとで運営されてきた。しかし、モンゴル襲来という危機的状況もあり、得宗の私邸で開かれる寄合で幕府の意思決定が行われるようになっていったんだ。

生徒：これが④得宗専制政治といわれているものですね。御家人たちの幕府への不満はますます高まりますね。

問 1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① ア 竹崎季長 イ 九州探題
- ② ア 竹崎季長 イ 鎮西探題
- ③ ア 三浦泰村 イ 九州探題
- ④ ア 三浦泰村 イ 鎮西探題

問 2 下線部①に関連して、鎌倉幕府の機構の整備に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **11**

- Ⅰ 公文所や問注所が設置され、それぞれ大江広元・三善康信が初代長官に就任した。
- Ⅱ 後白河法皇により、守護・地頭の設置が認可された。
- Ⅲ 御家人を統制するための機関として、侍所が設置された。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問3 下線部㉔に関連して、鎌倉時代の京都や鎌倉に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

12

X 手工業者や商人が集まり、定期市のほかに見世棚という常設の店舗も出現した。

Y 京都から鎌倉に赴いた阿仏尼が、紀行文として『十六夜日記』を残した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問4 下線部㉕に関連して、北条氏による執権政治が開始された頃の政策や出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

① 承久の乱で幕府側に敗れた後鳥羽上皇が、佐渡に配流された。

② 執権の補佐役として連署が設置され、その初代には北条時房が就任した。

③ 御成敗式目が制定され、公家法や荘園領主の支配下における本所法の効力が失われた。

④ 執権の北条泰時が、宗尊親王を京都から招き、初の皇族将軍とした。

問 5 下線部④に関連して、得宗専制体制が創出された時代に関して述べた次の文 **a** ～ **d** について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14

- a** 御内人の代表格である内管領が権勢をふるうようになった。
- b** 宝治合戦で有力御家人の安達泰盛が滅ぼされた。
- c** 永仁の徳政令によって御家人が所領を質入れ・売却することを禁じた。
- d** 土地をめぐる紛争が増加したため、新補率法を定めて地頭の給与を保障した。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

B

生徒：後醍醐天皇による⑥建武の新政は、足利尊氏が京都に攻め入って光明天皇を擁立したことで終わりを告げ、その後、後醍醐天皇が吉野に逃れて、南朝と室町幕府・北朝が約60年間にわたって対立する事態となったんですよね。この⑦南北朝の動乱が長期化した背景の一つに惣領制の解体があげられていましたが、これはどういうことですか。

先生：所領相続が分割相続から嫡子による単独相続へ移行することで内部対立が生じ、惣領制という血縁にもとづく一門の結束が崩れてしまった。この結果、各地の武士団が分裂して南朝・北朝それぞれに味方し、戦況によって有利な側に与^{くみ}するなど、離合集散を繰り返すことになって、戦乱が拡大していったということなんだ。

生徒：よくわかりました。それから、南北朝の動乱のなかで、国ごとに置かれた守護が地方武士を組織化して軍事動員できるよう、幕府は守護の権限拡大をはかりましたね。室町時代の幕府と守護との関係はどのようなものだったんでしょうか。

先生：室町幕府は守護によって支えられた政権であったけど、守護が力を持ちすぎることは警戒しなければならないね。⑧足利義満は、有力守護の勢力削減をはかるとともに、三管領や四職の家を定めるなど有力守護を要職につけて幕府機構を整備した。また、守護に在京を義務づけるなど守護の統制を重視しているね。

生徒：東国を領国とする守護などは、在京を免除される場合もあったようですね。

先生：よく知っているね。⑨鎌倉府は室町幕府と同様の機構をもち、管轄地域における裁量権も大きかったため、自立する傾向が強く、幕府に反抗することもあったんだ。そのため、鎌倉府の管轄地域の周辺を領国とする守護に対しては、不穏な動きがあれば対処できるよう、在京を免除したんだね。

問6 下線部㊸に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 後醍醐天皇は、延喜・天暦の治を理想の政治として摂政・関白を置かなかった。
- ② 土地所有権の確認には天皇の綸旨を必要とするなど、天皇への権限集中を企図した。
- ③ 中央には記録所や、鎌倉幕府の引付を受け継いだ雑訴決断所などが設置された。
- ④ 諸国には国司と守護が併置され、東北・関東地方にはそれぞれ奥州総奉行や鎌倉將軍府が設置された。

問7 下線部㊸に関連して、南北朝の動乱期の文化に関して述べた次のX・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

X 伊勢神道の影響を受けた北畠親房が、南朝の立場からこの著書で南朝による皇位継承の道理を説いた。

Y 和歌の上の句と下の句を複数名で交互に詠み継ぐ形式をとるこの文芸が、武家・公家を問わず広く流行した。

a 『梅松論』 b 『神皇正統記』 c 連歌 d 古今伝授

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① X — a Y — c | ② X — a Y — d |
| ③ X — b Y — c | ④ X — b Y — d |

問 8 下線部⑧に関連して、足利義満の事蹟に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 南朝の後小松天皇を説得し、三種の神器を北朝に譲渡させることで南北朝の合体を実現した。
- ② 夢窓疎石や九州の商人であった肥富を派遣して明との間に国交を開き、勘合貿易を開始した。
- ③ 近江の馬借の蜂起を契機にはじまった正長の徳政一揆を、管領畠山満家を派遣して制圧した。
- ④ 西国11カ国の守護を兼ねる山名氏一族の内紛に介入し、山名氏清を明德の乱で滅ぼした。

問 9 下線部⑨に関連して、鎌倉府に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

- a 鎌倉府の長官である鎌倉公方が、関東8カ国と美濃・尾張を支配した。
- b 足利尊氏の子である足利基氏が、初代鎌倉公方に就任した。
- c 応永の乱により、鎌倉公方足利持氏が将軍足利義教に討伐された。
- d 享徳の乱を契機に、鎌倉公方は古河公方と堀越公方に分裂した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

第3問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 「天下分け目の戦い」といわれる関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、1603年に征夷大將軍の宣下を受け、江戸に幕府を開いた。家康はこれ以後、㉑天皇・朝廷の権限を抑制するとともに、厳しく大名を統制しながら強力な武家政権の構築に着手し、3代將軍徳川家光の時代にかけて㉒幕府機構も整備され、幕藩体制と呼ばれる全国支配の体制が確立されていった。

幕府は、將軍直属の家臣である旗本・御家人に加え、大名が軍役を負担することで数十万の兵力を動員できる強大な軍事力をもっていた。こうした軍事力に加え、安定した政権運営のためには、経済力でも他の勢力を圧倒することが不可欠である。財政基盤としては、幕府は17世紀末には400万石に及んだとされる広大な幕領を確保したほか、全国の㉓主要な鉱山を直轄にして重要な財源とした。また、㉔貨幣鑄造権を握って金・銀・銭の三貨を全国に流通させ、異国・異民族との外交や貿易を主導するなど、日本の統治者であることを国内外に示し、権力基盤を固めたのである。

外交・貿易に関しては、家康は、豊臣秀吉の朝鮮侵略で悪化した明や朝鮮との関係改善を目指すとともに、オランダ・イギリスとの貿易を開始し、朱印状を与えて日本船の東南アジア方面への海外渡航を奨励するなど積極的に推進する方針をとった。しかし、キリスト教への警戒などから㉕幕府は次第に貿易統制を強めていくようになり、17世紀半ばにはいわゆる「鎖国」の体制が完成した。

問 1 下線部⑤に関連して、江戸幕府の大名・朝廷統制に関して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

19

- a 2代将軍徳川秀忠の名で武家諸法度（元和令）が發布され、大名は城の無断修築や新規築城などが禁止された。
- b 譜代大名の筆頭とされる福島正則が改易されるなど、武家諸法度に違反した大名は厳しく処罰された。
- c 3代将軍徳川家光の時代に制定された禁中並公家諸法度には、天皇は学問に専念することなどが示された。
- d 幕府は、後水尾天皇が高僧に対して与えた紫衣着用の勅許を無効とし、幕府の法度が天皇の勅許に優先することを示した。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 2 下線部⑥に関連して、幕府の役職に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

20

- ① 京都所司代が、朝廷や西国大名の監視を担当した。
- ② 老中の配下にあった大目付が、旗本・御家人の監察を担当した。
- ③ 若年寄の配下にあった目付が、大名の監察を担当した。
- ④ 博多・対馬・日光などの幕府直轄の要地には、遠国奉行が設置された。

問3 下線部㉔に関連して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの
組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

X この銀山は16世紀に開発が始まり、大内・毛利・尼子氏といった戦国大名が激しい争奪戦を繰り広げた。

Y 朝鮮から伝わったこの銀の精錬技術によって鉛などの不純物が取り除かれ、良質の銀を大量に得ることができた。

a 大森銀山 b 生野銀山 c たたら吹き d 灰吹法

- | | | | | | |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — a | Y — c | ② | X — a | Y — d |
| ③ | X — b | Y — c | ④ | X — b | Y — d |

- 問 4 下線部④に関連して、次の史料は『折たく柴の記』の一部である。史料に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22

史料

前代の御時(注)、歳ごとに其出る所の入る所に倍増して、国財すでにつまづきしを以て、元禄八年の九月より金銀の製を改造らる。これより此かた、歳々に収められし所の公利、総計金凡ソ五百万両、これを以てつねにその足らざる所を補ひしに、同き十六年の冬、大地震によりて傾き壊れし所々を修治せらるゝに至て、彼歳々に収められし所の公利も忽につきぬ。

(注) 前代の御時：史料にある政策が実施されたときの将軍の治世をさす。

- X 5代将軍徳川綱吉の時代には、毎年のように歳出が歳入を上回って幕府財政が悪化したため、荻原重秀の建議によって貨幣改鑄が行われた。
- Y 幕府はこれまでより質を落とした貨幣を発行したが、その目的は、巨額の改鑄差益を得て財政の不足分を補うことにあった。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問 5 下線部㉔に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

- Ⅰ 島原の乱を鎮圧した後、ポルトガル船の来航を禁止した。
- Ⅱ 奉書船以外の日本船の海外渡航を禁止した。
- Ⅲ 中国船を除く外国船の入港地を、平戸・長崎の2港に限定した。

- | | | | | | |
|---|-----------|---|-----------|---|-----------|
| ① | Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ | ② | Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ | ③ | Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ |
| ④ | Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ | ⑤ | Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ | ⑥ | Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ |

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

B 江戸幕府は、早い時期から江戸の防火対策、消防体制の整備を重視した。「火事と喧嘩は江戸の華」といわれるように、江戸はしばしば大火に見舞われたためである。江戸時代の約260年間に100件近くが記録されており、3年に1度の割合で大火が発生していることになる。

そのなかでも17世紀後半に起こった①明暦の大火では、江戸城の天守閣が焼失し、死者が10万人を超える大災害となった。この後、幕府は市街の再建にあたって火除地や **ア** を設け、建築物には耐火性のある土蔵造や塗屋造の採用を奨励するなど、延焼阻止を目的とする対策を講じていった。

このような予防策とあわせ、火事が発生した際の鎮火対策を講じて万全の体制を整える必要がある。3代将軍徳川家光の頃から幕府が指名した16の大名家による大名火消に江戸城や武家地の消火にあたらせていたが、明暦の大火後には定火消と呼ばれる常設の消防組織がつくられた。しかし、当時の消火活動は放水ではなく、家々を壊し延焼を防ぐという破壊消防が中心であったこともあり、人口密度の高い町人の居住区では火は瞬く間に燃え広がって大災害となってしまう。そこで、⑧8代将軍徳川吉宗による享保の改革の時期には、町人地における初期消火を徹底させるため、江戸町奉行の **イ** によって町人を主体とした消防組織である町火消が創設された。

その後も火事はたびたび起こり、⑨19世紀には江戸城の本丸御殿から出火して焼失することはあったが、市街地から江戸城に延焼するような火事が発生することはなかった。こうしたことから町火消の創設をはじめとする幕府の対策は一定の効果があったといえるだろう。

問 6 空欄

ア

イ

 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① ア 脇往還 イ 大岡忠相
- ② ア 脇往還 イ 間部詮房
- ③ ア 広小路 イ 大岡忠相
- ④ ア 広小路 イ 間部詮房

問 7 下線部①に関連して、明暦の大火が起こった17世紀後半の頃に展開された藩政に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① 水戸藩主の徳川光圀は、江戸に湯島聖堂を設け、『大日本史』の編纂を開始した。
- ② 加賀藩主の前田綱紀は、朱子学者の木下順庵を招き、学問の振興をはかった。
- ③ 熊本藩主の細川重賢は、藩校時習館を設け、人材の育成に力を注いだ。
- ④ 肥前藩主の鍋島直正は、均田制を実施し、本百姓体制の維持につとめた。

問 8 下線部⑧に関連して、享保の改革で推進された政策に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 実学を奨励し、キリスト教関係以外の漢訳洋書については輸入制限を緩和した。
- ② 江戸に流入した農民を強制的に帰村させ、農村人口の増加をはかった。
- ③ それまでの法令や判例を集成した公事方御定書を編纂し、裁判や刑罰の基準を定めた。
- ④ 目安箱に投書された意見をふまえて小石川養生所を設けた。

問 9 下線部⑥に関連して、19世紀に起こった大塩の乱に関して述べた次の文 **X**・**Y**について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

27

X 大塩平八郎は、冷害や浅間山大噴火を原因とする天明の飢饉に際し、民衆の救済を大坂町奉行所に訴えたが聞き入れられず、挙兵を決意した。

Y 大塩平八郎が蜂起したのと同じ年に、アメリカ船フェートン号が浦賀で砲撃される事件が起こった。

① **X** 正 **Y** 正

② **X** 正 **Y** 誤

③ **X** 誤 **Y** 正

④ **X** 誤 **Y** 誤

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

第4問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 明治政府は、㉠欧米列強と結んだ不平等条約の改正を最大の外交課題としたが、そのほか、近隣諸国との新たな国際関係の構築や日本領土の確定にも努めている。しかし、清や朝鮮は、冊封体制という東アジアの伝統的な国際秩序の維持をはかろうとしたため、しばしば対立を引き起こした。

明治政府は、発足とともに朝鮮に国交樹立を求めた。しかし、清を宗主国とし、鎖国政策をとる朝鮮は、日本の交渉態度に不満をもちこれを拒否したため、政府内では **ア** や板垣退助を中心に征韓論が高まった。㉢明治六年の政変によって征韓論は挫折したが、その後、1875年に政府は軍艦を派遣し、江華島において朝鮮と武力衝突事件を起こした。そしてその翌年には、これを口実に日朝修好条規を結び、朝鮮を自主独立の国として開国させている。しかし、これ以後、㉣朝鮮国内における親日的な改革派と清との関係を重視する保守派の抗争が激しくなるなか、日本と、朝鮮の宗主国である清との対立が深まっていった。

日本と清は、このほか琉球の帰属をめぐる問題も抱えていた。琉球は、江戸時代以来日中両属の状態にあったが、明治政府は1872年に琉球国王の **イ** を藩王とした琉球藩を設置し、中央省庁の管轄とした。こうした琉球を自国の領土に位置づける日本の方針に、琉球の宗主権を主張する清は強く抗議し、朝鮮の帰属問題とともに日清戦争で決着がつくまで両国の対立要因となった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- | | | | | |
|---|---|-------|---|-----|
| ① | ア | 西郷隆盛 | イ | 尚 泰 |
| ② | ア | 西郷隆盛 | イ | 尚 寧 |
| ③ | ア | 大村益次郎 | イ | 尚 泰 |
| ④ | ア | 大村益次郎 | イ | 尚 寧 |

問2 下線部③に関して、次の写真が条約改正の予備交渉のために日本から欧米に派遣された使節団の大使らを写したものである。この使節団に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

29

写真



X この使節団の派遣前に、安定した財源を確保するため地租改正条例が公布された。

Y この使節団には、のちに女子英学塾を創設した津田梅子などの留学生も加わった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部⑥に関連して、明治六年の政変と同年に起こった出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 大教宣布の詔が発布され、神道を中心とした国民教化が目指された。
- ② 政体書が制定され、三権分立制を取り入れた政府組織が整備された。
- ③ 薩摩・長州・土佐・肥前の4藩主が、版籍奉還の上奏文を提出した。
- ④ 殖産興業政策を推進する中央官庁として、内務省が設置された。

問 4 下線部㉔に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

- Ⅰ 日本にならって朝鮮の近代化をはかろうとする金玉均らの独立党が、守旧派である事大党の政権に対してクーデタを起こした。
- Ⅱ 朝鮮国王の外戚である閔氏一族が日本に接近したため、保守派の大院君を支持する軍隊が反乱を起こした。
- Ⅲ 日本と清との間で天津条約が結ばれ、朝鮮出兵の際には互いに事前通告し合うことなどが取り決められた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

(下 書 き 用 紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

B 敗戦後、焦土の中から日本が再び立ち上がり、国際社会に復帰を果たすまでには数々の困難が待ち受けていた。この占領期から講和・独立期に5次にわたる内閣を組織し、通算7年余り首相として政治運営にあたったのが **ウ** である。

戦後、④ アメリカを中心とする連合国軍の占領下で行われた ⑤ 日本の民主化政策 の多くは、**ウ** が組織した第一次内閣のもとで実施されている。当初、日本占領の目的は非軍事化・民主化にあるとされ、新憲法の制定をはじめとして政治・経済・社会の各方面にわたる諸改革が断行された。

しかし、冷戦と呼ばれる米ソを中心とした東西両陣営の対立が進むなかで、アメリカは占領政策を転換し、東アジアにおける共産主義の防波堤とするため、日本に経済復興と再軍備を強く求めるようになった。**ウ** が政権を担当した日本は、1950年にはじまった朝鮮戦争で経済を好転させ、⑥ サンフランシスコ平和条約 によって独立を回復したが、日米安全保障条約が結ばれたことで日本国内におけるアメリカ軍の駐留は継続され、アメリカの強い影響下におかれることになった。また、国内の治安維持をはかる目的で行われた1952年の **エ** の公布や公安調査庁の設置に際しては、基本的人権を侵害するものだという反対が起きるなど、⑧ 占領政策の転換・独立回復以後に行われた政策 は「逆コース」と呼ばれて世論の反発を招くことも多かった。

問5 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **32**

- | | | | | |
|---|---|-----|---|---------|
| ① | ウ | 片山哲 | エ | 国家総動員法 |
| ② | ウ | 片山哲 | エ | 破壊活動防止法 |
| ③ | ウ | 吉田茂 | エ | 国家総動員法 |
| ④ | ウ | 吉田茂 | エ | 破壊活動防止法 |

問 6 下線部㉔に関連して、占領体制に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 日本の占領に際しては、GHQの指令・勧告にもとづいて日本政府が政治を行う間接統治方式が採用された。
- ② 沖縄を含む琉球諸島や小笠原諸島などは、アメリカ軍が占領して直接軍政下においた。
- ③ 連合国による日本占領政策の最高決定機関として、ロンドンに極東委員会がおかれた。
- ④ 東京には連合国軍最高司令官の諮問機関である対日理事会がおかれた。

問 7 下線部㉕に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 衆議院議員選挙法が改正され、満20歳以上の男女に選挙権が与えられた。
- ② 独占禁止法が公布され、持株会社やカルテル・トラストの設立が奨励された。
- ③ 農業基本法にもとづき、寄生地主制の解体を目的とする農地改革が実施された。
- ④ 教育の機会均等などの教育の理念や原則を定めた学校教育法が制定された。

問 8 下線部⑥に関連して、サンフランシスコ講和会議・平和条約に関して述べた次の文 **a** ～ **d** について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

35

- a** 中国については、中華人民共和国が講和会議に参加した。
- b** ソ連は講和会議に参加したが、平和条約には調印しなかった。
- c** 平和条約には日本が台湾・南樺太などの領土を放棄することが定められた。
- d** 平和条約が結ばれた年に、日本の国際連合加盟が実現した。

- ① **a ・ c** ② **a ・ d** ③ **b ・ c** ④ **b ・ d**

問 9 下線部⑧に関して述べた次の文 **X** ・ **Y** について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

- X** アメリカとのMSA協定によって日本は自衛力の増強が義務づけられたため、防衛庁を設けてその統轄のもとに自衛隊を発足させた。
- Y** 教育の地方分権化を目指して教育委員会法を改正し、教育委員の選任については、地方自治体の首長による任命制を廃止して公選制を採用した。

- ① **X** 正 **Y** 正 ② **X** 正 **Y** 誤
- ③ **X** 誤 **Y** 正 ④ **X** 誤 **Y** 誤

(下 書 き 用 紙)

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2026年度一般入試(1月30日)【日本史探究】

1)「岩倉使節団」

写真：アフロ